



中心市街地のまちづくりの拠点がオープン!

半田市創造・連携・実践センターが 11月15日(金)にオープン!

地域住民のみなさんと共に、建物の配置やデザインからつくりあげた『半田市創造・連携・実践センター』が、11月15日(金)にオープンします。

半田市創造・連携・実践センター(コココリン)

- 開館時間 10時~19時
- 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 場所 南末広町120番地の4
- 施設概要
 - ・レンタルオフィス
 - ・コワーキングスペース
 - ・カフェ「pivot(ピボット)」
 - ・交流スペース(屋外)など
- 運営 (一社)はんだのたね(指定管理者)
- 電話番号 77-2363



センターの愛称が決定しました! 「コココリン」

応募者の想い

ここに来て(集まって)という意味合いに、方言(こりん)を混ぜて、身近に感じられるように命名しました。

応募のあった150案の中から選定・地域投票を経て『コココリン』に決定しました。
たくさんの応募・投票ありがとうございました。



(一社)はんだのたね
事務局長
池脇 啓太

いよいよ新しいセンター「コココリン」がオープンします。
指定管理者として、地域のみなさまが集い、交流し、たくさんのアイデアや新しい価値が生まれる場にしていきます。
より活気ある半田の発信拠点となるよう、たくさんの人にご利用いただきたく思っています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

半田市創造・連携・実践センターの設置目的

①中心市街地の活性化

地域の文化や経済活動を促進し、市民が集い交流する場を提供することで、中心市街地のにぎわいを創出します。地域経済の発展と共に、住民の生活の質を向上させることを目指します。

②市民・事業者・学生等の交流、連携促進によるネットワークの形成

交流イベントやワークショップ等を通じて、市民や事業者、学生などが交流し、連携を深め、新たなビジネスチャンスや協力関係を構築できるネットワークの形成を支援します。

③起業・創業の促進

コワーキングスペースやレンタルオフィスの貸出、ビジネスのアドバイスやサポート等、起業・創業を支援します。そして、地域の経済活性化と新しい雇用を創出します。



▲愛称「コココリン」をもとに
ロゴデザインも決定しました。

人口減少の社会とまちにおいて、新しい価値やまちの在り方が問われています。そのような中、はんだのたねとして、自分たちのまちは自分たちで作ろうとして、地元のメンバーが集まり、この中心市街地の在り方について話し合いを重ねてきました。
これからは「暮らし」「子育て」「起業」しやすさなどが大事な価値となります。
自分たちのまちをつくる当事者たちが共に手を取り合い、「楽しい」をこのセンターから作り上げて、まちのみんなでまちの価値を咲かせていきましょう。



(一社)はんだのたね
代表理事
鈴木 雅貴